

(別紙様式1)

11 / 11 (日) の行事

報道発表資料の配付日時 11月9日(金) 16時00分

発表項目 (行事名)	北海道社会貢献賞(地域医療功労者・救急医療功労者)表彰式について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>永年にわたり、地域住民の医療の確保や保健衛生、健康管理に尽力し、その功績が顕著な方に知事から北海道社会貢献賞を授与することとし、次のとおり表彰式を行います。</p> <p>1 受賞者 別紙のとおり ・地域医療功労者6名 (うち、出席者4名) ・救急医療功労者1名1団体(総て出席)</p> <p>2 表彰式 平成24年11月11日(日) 15時30分～16時 札幌グランドホテル 2階 グランドホール西 札幌市中央区北1条西4丁目</p> <p>3 贈呈者 北海道知事 高橋 はるみ</p> <p>※当日あわせて、永年にわたり救急医療に尽力した6か所の医療機関に知事の感謝状を贈呈します。(6医療機関総てが出席)</p> <p>なお、表彰式は、北海道医師会創立65周年記念式典の席上で行います。 (記念式典は、14時40分～16時)</p>		
報道(取材)に当たってのお願い	表彰式の積極的な取材をお願いします。		
他のクラブとの関係	同時配付(場所) 同時レク		
担当(連絡先)	保健福祉部医療政策局医療業務課(担当:合田) TEL ダイヤルイン 011-204-5989 内線 25-315		

平成24年度北海道社会貢献賞受賞者

地域医療功労者

氏名 ^{おかだ} ^{けんじ} 岡田 健二 (根室市)

〔功績概要〕

昭和34年から道内の各病院に勤務し、昭和44年、根室市内において診療所を開設して以来、43年に亘り根室市内のかかりつけ医として診療に従事し、特に、当該診療所で標ぼうしている胃腸科及び小児科は、根室市内では市立根室病院のほか、それぞれ診療所1施設が標ぼうしているのみであり、地域での医療の提供に尽力した。

また、根室市内の小中学校の学校医として、学校における保健管理、生徒並びに職員の健康増進に努めるとともに、社団法人根室市外三郡医師会の監事、理事、副会長及び会長を歴任、その間も保健医療行政の各種会議の委員として参画するなどし、その後は、名誉顧問として現在も活躍しているなど、地域の保健・医療の向上に貢献した。

氏名 ^{かめだ} ^{けいじ} 亀田 桂司 (広尾町)

〔功績概要〕

昭和58年に札幌医科大学小児科に入局後、道内の各病院に勤務し、平成5年に小児科医長として十勝診療所に勤務した後、平成7年に広尾町に診療所を開院し、患者の通院範囲は、日高管内えりも町、様似町、浦河町、十勝管内では、大樹町、幕別町忠類地区外に及ぶなど広域的であり、小児科医として地域での医療提供に尽力した。

また、小児科救急医療、休日救急当番医を担ってきたほか、広尾町における小児の各種健診、予防接種の個別・集団接種、町立保育所・幼稚園等各施設の健康診断等を実施しており、さらに、成人・高齢者に対しても、特定健康診査の実施、特定保健指導対象者等の紹介など、広尾町との連携支援を継続して実施し、地域の保健・医療の向上に貢献した。

氏名 ^{かわむら} ^{ごろう} 川村 五郎 (富良野市)

〔功績概要〕

昭和43年に整形外科医として社会福祉法人北海道社会事業協会富良野病院に勤務後、昭和45年に富良野市において整形外科医院を開院し、44年の長きに亘り、富良野地域の保健・地域医療の向上に尽力するとともに、富良野市立西中学校・布部小中学校の学校医として、児童・生徒の健全な心身の発達のための健康管理に尽力した。

また、16年間に亘り、北海道医師会救急医療対策部会会員として道内の救急医療の充実に努め、富良野医師会救急担当理事としても、富良野圏域の救急医療に関する指導助言など、広く住民への普及・啓発に努めるとともに、緊急時の傷病患者の人命救助のため献身的な医療を行い、救急医療体制の一翼を担い活躍した。

氏名 ^{きょうだ} ^{つよし} 経田 剛 (上ノ国町)

〔功績概要〕

昭和57年に北海道大学第三内科医局に入局後、道内の各医療機関に勤務し、平成10年から町立上ノ国診療所を運営するとともに、町立石崎診療所の休止の際には、患者の引き受けを行うなど、地域医療の提供に尽力した。

また、町立小中学校の学校医として子供たちの健康管理を担っているほか、上ノ国町の委託を受けて予防接種の個別接種を実施し、さらに、糖尿病教室や高血圧教室などの保健事業の講師として積極的に地域に出向くなど、町民の疾病予防及び健康教育に深く関わるとともに、平成11年からは、通院している糖尿病患者を町保健事業の訪問指導へ結ぶ糖尿病連絡システムの活用を積極的に推進し、糖尿病患者の在宅療養に尽力した。

氏名 ^{こばやし} ^{たかし} 小林 孝 (厚真町)

〔功績概要〕

昭和51年に市立室蘭総合病院に勤務後、道内外の癌専門病院、脳神経外科病院などに勤務して幅広い分野で医療に携わり、平成4年に厚真町に診療所を開業して以来、20年に亘り厚真町民や近隣町民のかかりつけ医師として診療に従事し、夜間の往診実施や在宅療養患者等へのきめ細かな対応など、地域医療の向上に尽力した。

また、平成17年からは町内で唯一の医療機関として重要な役割を担ってきたほか、平成18年からは常勤医2人体制とし、昼夜を問わず地域の医療の提供に尽力するとともに、平成5年からは町嘱託医並びに学校医としても携わり、町民の健康管理も担っている。

氏名 ^{みかみ}三上 ^{あきひろ}昭廣 (函館市)

[功績概要]

昭和48年に精神科医として函館渡辺病院に勤務して以来、40年に亘り診療に従事し、道南における精神科医療水準の向上に努めるとともに、市民を対象とした講演会を多数開催するなど、地域での精神保健の普及・充実に取り組み、地域住民の精神的健康の保持増進、精神障害者の自立と社会参加の促進などの精神保健福祉活動の推進に貢献するなど、地域での医療の推進に尽力した。

また、平成13年から南北海道精神科医会会長並びに函館市医師会精神科会会長として、道南で診療する精神科医師の医療の質の向上と若手医師の研鑽に貢献し、平成15年からは、函館地方精神保健協会会長として、道南の精神保健福祉関係者と一般市民の連携による精神保健活動の推進を図るとともに、北海道精神科救急医療システム連絡調整委員会委員を努めるなど、道南地域の精神科救急医療体制の維持・発展にも尽力した。

救急医療功労者

団体名 ^{しやかいふくしほうじんはこだてこうせいいんはこだてちゆうおうびよういん}社会福祉法人函館厚生院函館中央病院 (函館市)

[功績概要]

昭和39年に救急告示医療機関の指定を受け、48年に亘り道南圏の一次・二次救急病院を担ってきた。昭和48年には未熟児センターを開設し、地域で出生した未熟児を受け入れ、平成16年からは小児救急医療拠点病院、平成19年からは小児科医療の重点化病院、平成20年からは総合周産期母子医療センターの指定を受け、その役割を果たしてきた。

また、函館市医師会災害救急医療部隊として、駒ヶ岳噴火、有珠山噴火等多数出動・対応をしており、平成23年の東日本大震災発生時には、岩手県山田町に医療救護班を派遣した。

氏名 ^{なかた}中田 ^{やすのぶ}康信 (札幌市)

[功績概要]

中田泌尿器科病院の院長として、開業当初より救急医療に積極的に取り組み、昭和62年より札幌市医師会夜間急病センター自宅待機医療機関として、夜間の泌尿器科救急医療体制に参画し、また、平成16年に開始した新救急医療体制での第二次救急医療体制には、泌尿器科の二次医療機関として参画し、一刻を争う重症患者の診療のみならず、初期救急患者にも常時対応してきた。

また、札幌市医師会の理事、副会長として、他の医療機関が受け入れできない救急患者の受入、年末年始等の休日当番にも積極的に対応してきた。

(敬称は略させていただきます。掲載は、各賞ごとの五十音順です。)

平成24年度北海道知事感謝状贈呈者 (救急病院)

永年にわたり救急病院として救急医療に献身的な努力をほらい、本道における医療の充実向上に寄与している。

市町村	医療機関名	告示年月日
釧路市	社会医療法人孝仁会星が浦病院	平成 8年 7月 1日
札幌市	NTT東日本札幌病院	平成 9年 2月 1日
札幌市	医療法人社団静和会静和記念病院	平成 9年 2月 1日
別海町	町立別海病院	平成 9年 2月 1日
月形町	国民健康保険月形町立病院	平成 9年 4月 1日
岩見沢市	独立行政法人労働者健康福祉機構北海道中央労災病院	平成 9年 4月 1日
計	6病院	

(敬称は略させていただきます。掲載は、告示年月日順です。)